【本事業の狙い】

「これまでの状況]

アメリカ発3Dプリンタブーム到来

わが国でも再ブーム +

国内外でベンチャ企業が出現 (メーカ 300 社招) 日本ユーザの7割は海外メーカ

方向性の二極化

- ▶パーソナル付加製造装置の普及(製造には不向き)
- ▶広範囲な製造業向けの付加製造装置の出現に期待 (これまでは一部の分野に限定)

「産業界への普及のためには]

- ◆付加製造装置・造形物 ⇒ レベルアップが必要
- ◆利用材質の多品種化 ⇒ 活用範囲の拡大、新製品の可能性



本事業の狙い

「国の活動」

- ▶ 調査事業の実施
- ▶ 研究開発が始動

[付加製造産業界の活動が重要」

- ▶ 付加製造装置のファブリケータとベンダ (メー カ)の視点から方向性を「見える化」の実現 付加製造技術に関する戦略構築
- ▶ 付加製造技術を単なるブームで終わらせるこ となく、日本の産業界に根付かせる

【次年度の取組み(継続)】

●付加製造技術の活用が期待される産業(製品)へのアプローチ(樹 脂系、金属系)のための具体的な戦略作り

【本事業での実施概要】

- (1)国内外システムの造形物の産業 統計、特性基礎データ収集「現状 把握]
- ●産業界を俯瞰するための産業規模 の把握→産業界での付加製造装置 の位置付けが重要
- ●付加製造装置の実態把握→装置・ 造形物個票を作成
- ●装置・造形物個票集の作成
 - → 粉末床溶融結合法が多い (研究開発は、指向エネルギー 堆積法に重点)
 - → ユーザへの情報提供
- ●最新の造形物特性を調査
 - → 産業用への適用の有効性確認

(2)川下産業が期待する付加製造装 置への要望[ニーズ把握]

- ●ユーザの不満を整理
 - ①造形物が低品質
 - ②原料の制約
 - ③装置がブラックボックス
 - ④長所、短所が理解できてない
- ●新たな適用分野

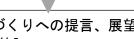
(量産;鋳造、単品;医療) 要望;①教育、②ISO確立、

③市場創生、④ユーザ啓蒙

- ●デザイン性を重視するユーザの要 望とニーズを整理中
- → 課題や提言へ展開

(3)現状及び期待から見えてくる付加製造装置の課題「課題の見える化」

- ●付加製造装置関係メーカ自身が俯瞰的には理解できていない
 - → それぞれの付加製造工法及び素材毎に「強み」と「弱み」を整理
- ●川下産業の要望 ←すり合せ→ 上記の「強み」と「弱み」→ 分析
 - → 提言・展望の方向性を整理



(4)付加製造技術を用いたものづくりへの提言、展望 「産業界への普及拡大への道筋]

- ●プロバイダーとして個々に努力する課題、業界全体として取り組む課題を示す
 - → 付加製造装置関係メーカが実施すべき戦略の骨格を作成
 - → 更に周囲環境を踏まえて、今後、付加製造産業界が実施すべき戦略につい てまとめた

付加製造技術によるものづくりの振興に関する戦略策定